

平成19年3月期 第1四半期財務・業績の概況（連結）

平成18年8月11日

会社名 新コスモス電機株式会社
 (URL <http://www.new-cosmos.co.jp/>)

(JASDAQ・コード番号：6824)

代表者 役職名 代表取締役社長
 氏名 重盛徹志
 問い合わせ先 責任者役職名 経理財務部長
 氏名 前條忠則

TEL：(06)6309-1502

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

- ① 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
 (内容)
 ・法人税等の計上基準及びその他一部については、簡便的な方法を採用しております。
- ② 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無
- ③ 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 無

2. 平成19年3月期第1四半期財務・業績の概況（平成18年4月1日～平成18年6月30日）

(1) 経営成績（連結）の進捗状況

(百万円未満切捨)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期（当期）純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19年3月期第1四半期	3,844	18.8	190	11.5	209	15.1	117	8.8
18年3月期第1四半期	3,236	△0.2	171	12.3	181	4.0	108	1.9
(参考) 18年3月期	14,413		956		996		686	

	1株当たり四半期 (当期)純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益
	円 銭	円 銭
19年3月期第1四半期	9 52	—
18年3月期第1四半期	8 69	—
(参考) 18年3月期	55 39	—

(注) 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率

[経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等]

当第1四半期（平成18年4月1日から平成18年6月30日まで）におけるわが国経済は、原油など原材料価格の高騰による影響が懸念されたものの、企業の設備投資の増加や堅調な個人消費の伸び、雇用情勢の改善など、景気は回復基調を維持しました。

このような環境のもとで、当社グループはお客様の視点での新商品開発、営業・サービス体制及び品質管理体制の強化をはかり、主力のガス警報器・ガス検知器の積極的な販売活動を展開してまいりました。

その結果、家庭用ガス警報器及び工業用定置式ガス検知警報器並びに業務用携帯型ガス検知器が伸び、売上高は38億4千4百万円と前年同期に比べ18.8%の増収となりました。利益につきましては、経常利益は前年同期に比べ15.1%増の2億9百万円となり、第1四半期純利益は前年同期に比べ8.8%増の1億1千7百万円となりました。

商品別の概況は以下のとおりであります。

・家庭用ガス警報器

都市ガス用につきましては、火災警報機能付商品が堅調に推移し、売上高は前年同期を上回りました。LPガス用につきましては、交換期限切れの更新が停滞した結果、売上高は前年同期を下回りました。また、住宅用火災警報器の販売につきましては、消防法改正による6月1日からの設置義務化を受けて好調に推移しました。

その結果、家庭用ガス警報器としては、売上高は前年同期を上回りました。

・工業用定置式ガス検知警報器

産業界における保安設備の見直しが続く中、可燃性ガス用ガス検知警報器の販売は堅調に推移しました。半導体製造ガスを中心とした毒性ガス用ガス検知警報器の販売も堅調に推移し、売上高は前年同期を上回りました。

・業務用携帯型ガス検知器

作業現場における安全管理が一段と重視される中、装着型の毒性ガス検知器やマルチ型ガス検知器の新商品が好調に推移し、売上高は前年同期を上回りました。

・その他

ニオイセンサを活用した電気品異常早期感知器は順調に推移しましたが、その他の商品が伸び悩み、売上高は前年同期を下回りました。

(2) 財政状態の変動状況

(百万円未満切捨)

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
19年3月期第1四半期	21,612	16,654	76.8	1,341 40
18年3月期第1四半期	19,615	15,915	81.1	1,278 83
(参考) 18年3月期	20,546	16,636	81.0	1,344 88

【連結キャッシュ・フローの状況】

(百万円未満切捨)

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
19年3月期第1四半期	458	△60	△156	7,721
18年3月期第1四半期	326	△261	△271	7,313
(参考) 18年3月期	841	△495	△384	7,479

[財政状態(連結)の変動状況に関する定性的情報等]

当第1四半期末における総資産は、前連結会計年度末に比べ10億6千6百万円増加して21億6千2百万円となりました。

これは主に、たな卸資産の増加5億5千8百万円及び売上債権の増加3億5千6百万円並びに現金及び預金の増加2億4千1百万円によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ11億8百万円増加して49億5千7百万円となりました。

これは主に、未払金の減少2億2千5百万円があったものの、支払手形及び買掛金の増加13億円によるものであります。

純資産は、16億6千4百万円となり、1株当たり純資産は、1,341円40銭となりました。

この結果、自己資本比率は、支払方法の変更(一括支払信託の導入)による影響もあり、76.8%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当四半期連結会計期間における現金及び現金同等物は、投資活動及び財務活動において減少したものの、営業活動において増加し、前連結会計年度末に比べ2億4千1百万円(3.2%)増加して77億2千1百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、4億5千8百万円となりました。

これは主に、たな卸資産の増加5億5千8百万円及び売上債権の増加3億5千6百万円があったものの、仕入債務の増加13億円及び税金等調整前四半期純利益2億6百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果流出した資金は、6千万円となりました。

これは主に、有形固定資産の取得による支出3千9百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果流出した資金は、1億5千6百万円となりました。

これは主に、配当金の支払い1億5千5百万円によるものであります。

[参考]

平成19年3月期の連結業績予想(平成18年4月1日～平成19年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
中間期	7,700	470	280
通期	16,200	1,160	700

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 56円59銭

※ 上記予想は、現時点で得られた情報に基づき算定しておりますが、実際の業績は、業況の変化などにより、大きく異なる場合がありますことをご承知おきください。

[業績予想に関する定性的情報等]

第1四半期の業績は予定通り推移しており、平成18年5月19日に公表しました業績予想に変更はありません。

1. 要約四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

科目	前第1四半期 (平成17年6月30日)		当第1四半期 (平成18年6月30日)		前連結会計年度 (平成18年3月31日)		増減
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額
(資産の部)		%		%		%	
I 流動資産							
1. 現金及び預金	6,921,821		7,329,429		7,088,118		
2. 受取手形及び売掛金	3,360,229		4,610,652		4,254,460		
3. 有価証券	446,107		458,217		464,157		
4. たな卸資産	2,721,016		2,961,143		2,402,950		
5. その他	216,433		240,953		293,229		
流動資産合計	13,665,608	69.7	15,600,396	72.2	14,502,915	70.6	1,097,480
II 固定資産							
1. 有形固定資産	3,743,731	19.1	3,683,742	17.1	3,720,921	18.1	△37,179
2. 無形固定資産	292,831	1.5	331,395	1.5	339,286	1.6	△7,891
3. 投資その他の資産	1,912,997	9.7	1,997,037	9.2	1,983,172	9.7	13,865
固定資産合計	5,949,560	30.3	6,012,175	27.8	6,043,380	29.4	△31,205
資産合計	19,615,168	100.0	21,612,571	100.0	20,546,296	100.0	1,066,275

(単位：千円)

科目	前第1四半期 (平成17年6月30日)		当第1四半期 (平成18年6月30日)		前連結会計年度 (平成18年3月31日)		増減
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額
(負債の部)		%		%		%	
I 流動負債							
1. 支払手形及び買掛金	1,359,950		2,853,273		1,552,401		
2. 未払金	387,829		308,878		534,600		
3. 1年以内返済予定の長期借入金	10,800		—		—		
4. 未払費用	113,612		78,068		92,403		
5. 未払法人税等	110,693		89,413		212,735		
6. 賞与引当金	421,205		421,669		237,459		
7. その他	377,508		328,768		351,533		
流動負債合計	2,781,600	14.2	4,080,071	18.9	2,981,133	14.5	1,098,937
II 固定負債							
1. 長期借入金	2,300		—		—		
2. 退職給付引当金	743,913		752,768		744,515		
3. 役員退職慰労金引当金	94,507		109,971		106,941		
4. その他	21,556		14,789		16,707		
固定負債合計	862,276	4.4	877,529	4.0	868,164	4.2	9,365
負債合計	3,643,876	18.6	4,957,600	22.9	3,849,298	18.7	1,108,302

(単位：千円)

科目	前第1四半期 (平成17年6月30日)		当第1四半期 (平成18年6月30日)		前連結会計年度 (平成18年3月31日)		増減
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額
(少数株主持分)		%		%		%	
少数株主持分	56,174	0.3	—	—	60,721	0.3	—
(資本の部)							
I 資本金	1,460,000	7.4	—	—	1,460,000	7.1	—
II 資本剰余金	934,443	4.7	—	—	934,443	4.6	—
III 利益剰余金	13,568,635	69.2	—	—	14,147,393	68.9	—
IV その他有価証券評価差額金	130,704	0.7	—	—	372,930	1.8	—
V 自己株式	△178,665	△0.9	—	—	△278,490	△1.4	—
資本合計	15,915,117	81.1	—	—	16,636,277	81.0	—
負債、少数株主持分及び資本合計	19,615,168	100.0	—	—	20,546,296	100.0	—
(純資産の部)							
I 株主資本							
1. 資本金	—	—	1,460,000	6.8	—	—	—
2. 資本剰余金	—	—	934,443	4.3	—	—	—
3. 利益剰余金	—	—	14,104,327	65.3	—	—	—
4. 自己株式	—	—	△278,490	△1.3	—	—	—
株主資本合計	—	—	16,220,280	75.1	—	—	—
II 評価・換算差額等							
1. その他有価証券評価差額金	—	—	372,930	1.7	—	—	—
評価・換算差額等合計	—	—	372,930	1.7	—	—	—
III 少数株主持分	—	—	61,760	0.3	—	—	—
純資産合計	—	—	16,654,971	77.1	—	—	—
負債、純資産合計	—	—	21,612,571	100.0	—	—	—

2. 要約四半期連結損益計算書

(単位：千円)

科目	前第1四半期 (自 平成17年4月1日 至 平成17年6月30日)		当第1四半期 (自 平成18年4月1日 至 平成18年6月30日)		増減	前連結会計年度 (自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日)	
	金額	百分比	金額	百分比		金額	金額
I 売上高	3,236,852	100.0	3,844,978	100.0	608,126	14,413,539	100.0
II 売上原価	1,863,551	57.6	2,334,848	60.7	471,297	8,398,759	58.3
売上総利益	1,373,300	42.4	1,510,129	39.3	136,829	6,014,779	41.7
III 販売費及び一般管理費	1,202,252	37.1	1,319,372	34.3	117,120	5,058,110	35.1
営業利益	171,048	5.3	190,756	5.0	19,708	956,668	6.6
IV 営業外収益	11,944	0.4	19,269	0.5	7,325	42,854	0.3
V 営業外費用	1,047	0.1	520	0.1	△526	3,069	0.0
経常利益	181,944	5.6	209,506	5.4	27,561	996,453	6.9
VI 特別利益	54,891	1.7	—	—	△54,891	113,142	0.8
VII 特別損失	41,692	1.3	2,913	0.0	△38,778	53,372	0.4
税金等調整前四半期(当期)純利益	195,144	6.0	206,593	5.4	11,448	1,056,223	7.3
税金費用	88,105	2.7	86,012	2.2	△2,093	364,669	2.5
少数株主損益(損失：△)	△1,157	△0.0	2,836	0.1	3,993	4,601	0.0
四半期(当期)純利益	108,195	3.3	117,744	3.1	9,549	686,953	4.8

3. 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期 (自 平成17年4月1日 至 平成17年6月30日)	当第1四半期 (自 平成18年4月1日 至 平成18年6月30日)	前連結会計年度 (自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日)
区分	金額	金額	金額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前四半期(当期)純利益	195,144	206,593	1,056,223
減価償却費	81,948	94,987	414,145
有形固定資産除売却損	13,332	362	24,208
連結調整勘定の償却	△1,860	△3,235	△7,920
貸倒引当金の増減額(減少：△)	△55,066	4,100	△117,077
賞与引当金の増減額(減少：△)	175,975	184,210	△7,771
役員賞与引当金の増減額(減少：△)	500	2,450	△5,600
製品保証引当金の増減額(減少：△)	△3,847	△22,493	△5,642
退職給付引当金の増減額(減少：△)	9,492	8,252	10,095
役員退職慰労金引当金の増減額(減少：△)	△26,430	3,030	△13,996
受取利息及び配当金	△6,513	△10,271	△17,118
支払利息	89	—	250
売上債権の増減額(増加：△)	641,730	△356,192	△252,500
たな卸資産の増減額(増加：△)	△132,604	△558,193	185,461
仕入債務の増減額(減少：△)	△258,673	1,300,872	△66,222
その他	△26,717	△195,185	44,323
小計	606,499	659,287	1,240,859
利息及び配当金の受取額	6,513	10,282	17,122
利息の支払額	△84	—	△219
法人税等の支払額	△286,035	△211,553	△415,953
営業活動によるキャッシュ・フロー	326,893	458,017	841,808

(単位：千円)

	前第1四半期 (自 平成17年4月1日 至 平成17年6月30日)	当第1四半期 (自 平成18年4月1日 至 平成18年6月30日)	前連結会計年度 (自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日)
区分	金額	金額	金額
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
有価証券の償還による収入	10,000	11,000	10,000
有形固定資産の取得による支出	△106,772	△39,479	△419,223
有形固定資産の売却による収入	—	—	387
無形固定資産の取得による支出	△151,677	△13,100	△246,978
投資有価証券の取得による支出	△11,200	△14,203	△98,647
金銭信託の満期による収入	—	—	257,435
その他	△1,669	△4,662	1,228
投資活動によるキャッシュ・フロー	△261,319	△60,445	△495,798
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
長期借入金の返済による支出	△2,700	—	△15,800
自己株式の取得による支出	△105,898	—	△205,723
配当金の支払額	△162,694	△155,721	△162,456
少数株主への配当金の支払額	△480	△480	△480
財務活動によるキャッシュ・フロー	△271,772	△156,201	△384,459
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—	△1,396
V 現金及び現金同等物の増減額 (減少：△)	△206,199	241,370	△39,846
VI 現金及び現金同等物の期首残高	7,519,622	7,479,775	7,519,622
VII 現金及び現金同等物の期末残高	7,313,422	7,721,146	7,479,775

4. セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

当四半期

当社グループは、商品の種類、性質、製造方法、販売市場等の類似性から判断して、同種・同系列のガス警報器・検知器を専ら製造・販売及びメンテナンスを行っておりますので、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

前年同四半期

当社グループは、商品の種類、性質、製造方法、販売市場等の類似性から判断して、同種・同系列のガス警報器・検知器を専ら製造・販売及びメンテナンスを行っておりますので、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

[所在地別セグメント情報]

当四半期

全セグメントの売上高の合計及び全セグメントの資産の金額の合計額に占める「本邦」の割合がいずれも90%を超えているため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

前年同四半期

全セグメントの売上高の合計及び全セグメントの資産の金額の合計額に占める「本邦」の割合がいずれも90%を超えているため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。